

健康フレフレ ますだ新聞 2022年 2月号

こんにちは! ナーシングホーム野里です♪

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。大変な世の中ですが、こんな時だからこそ皆様のお役に立てるような施設にしていきたいと思ひますので、職員一同今年も一生懸命がんばります!

さて今回はナーシングホーム野里の年末年始の食事を紹介したいと思います。

まずは年末から。

メニューは「年越しそば」「天ぷら」「オクラの和え物」「おにぎり」です。



お正月です。

メニューはお昼が「ちらし寿司」で、夜は「ぶりの照り焼き」「茶碗蒸し」「数の子」「漬物」「ご飯と味噌汁」です。



皆さん美味しそうに召し上がっていました♪

(ナーシングホーム野里 小鹿)

新型コロナウイルスの変異型オミクロン株について

昨年の12月には新型コロナの感染は激減しました。ところが今年になってから新型コロナの感染は激増しております。いわゆるコロナウイルスの変異型であるオミクロン株が原因と考えられます。オミクロン株は昨年11月に南アフリカで初めて発見されました。ウイルスの変異は増殖の過程で起こる間違いのことでしばしば起こり、その性質も変わってしまいます。変異株は順番にギリシャ文字の名前が付けられこれまでアルファ、ベータ、ガンマ、デルタ株が知られています。オミクロン株は感染力が強く瞬間に世界中に拡がりました。アメリカではコロナ感染の9割以上はオミクロン株と言われていますし、日本での急速な感染者の増加はオミクロン株によるものと考えられます。ただ、感染力は強いのですが、症状は軽い人がほとんどで2-3日の潜伏期の後、発熱、咽頭痛、鼻水程度で治ってしまいます。また、感染しても全く無症状の人も8-9割くらいいるようです。爆発的な感染増加に比して、重症化率や死亡率はかなり低下しております。限りなくこれまでの風邪やインフルエンザに近くなっていると考えてもいいかと思えます。ワクチンの効果が低下していると言われていますが、重症化率の低下はワクチンの効果と思われる、3回目のワクチン接種によりワクチンの効果はさらに増強されると考えられています。政府は医療従事者や高齢者、疾病を有している人への3回目のワクチン接種を推進しています。問題は感染率が高いため感染者、濃厚接触者の数が多く、隔離期間が2週間と長いこと国の機能が麻痺してしまうことです。政府は隔離期間を10日間としましたが、もっと短くすることもできそうです。もちろんこれまでと同様にマスク、手洗い、換気、混雑を避けることは必要です。案外、オミクロン株の流行はコロナ収束の予兆かもしれません。

(内科医師 山辺英彰)

東京都の重症化率の推移

第3波	第4波	第5波	第6波
2020年12月 ~21年3月	21年 3~6月	21年 6~9月	22年 1月~
従来株	アルファ株	デルタ株	オミクロン株
0.93%	0.83%	0.66%	0.15% (?)

※都の資料と東京大の仲田泰祐准教授らの推計を基に作成

▲東京新聞 2022年1月14日

第5波ピーク時と第6波の比較

	第5波	第6波
1日あたりの死者	89人 (9月8日)	10人 (1月18日)
確保病床使用率	61.6% (8月25日)	16.0% (1月12日)
自宅療養者	13万1214人 (9月1日)	1万8708人 (1月12日)

▲読売新聞 2022年1月19日

お知らせ

水曜日(午後)呼吸器外来

2月 2日 牧口友紀医師
2月 9日 當麻景章^{たいま}医師
2月16日 田中寿志医師
2月23日 祝日

土曜日(午前)呼吸器外来

2月 5日 石岡圭子医師
2月12日 田中寿志医師
2月19日 當麻景章医師
2月26日 牧口友紀医師

広報部より

青県内でも新型コロナウイルスの感染者が非常に多くなっています。基本的な感染対策に努め、体調管理に気を付けましょう。
(編集 大橋)